

# 新型コロナウイルス感染症による 九州の公共交通事業者・観光事業者への影響 (令和4年1月分までの実績)

九州運輸局  
令和4年2月24日

運輸と観光で九州の元気を創ります

<お問い合わせ先>  
九州運輸局交通政策部交通企画課  
辻、時任  
電話：092-472-2315  
国土交通省九州運輸局HP  
<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

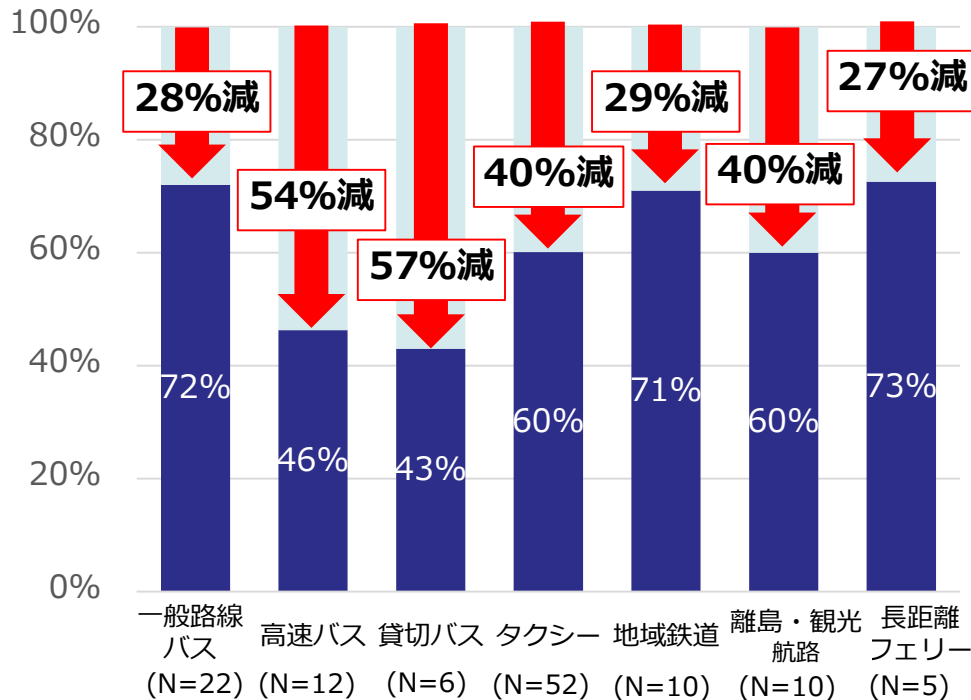


九州運輸局

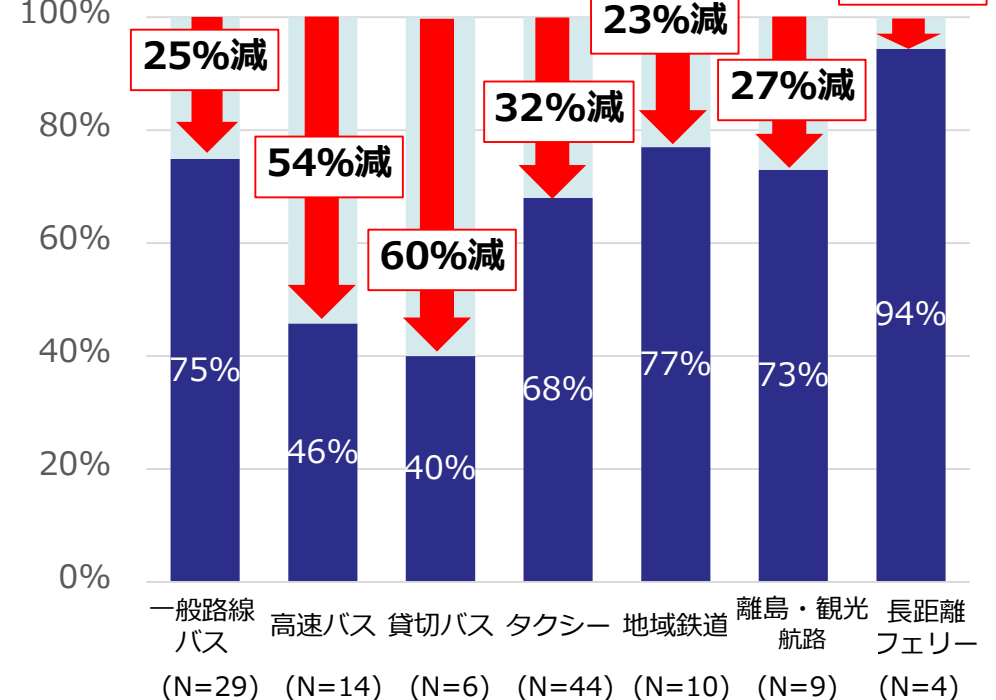
# コロナによる公共交通事業者への影響（九州運輸局管内）

・令和4年1月は、年始時点では感染状況が比較的落ち着いており、昨年よりも多くの移動需要があった一方、中旬以降はオミクロン株の感染急拡大により需要が大きく減少し、1月全体としては、全ての交通モードにおいて前月（R3.12）の輸送人員・運送収入を下回った。特に、前月においてコロナ前の水準まで回復していた貸切バスにおいては、教育旅行や社会見学等のキャンセルが相次ぎ、輸送人員で前月比52%減、運送収入で前月比56%減となった。

### 1月の輸送人員（対R1同月比）



### 1月の運送収入（対R1同月比）



対前年比 (R4.1/R3.1)	102%	154%	223%	113%	104%	171%	169%
------------------	------	------	------	------	------	------	------

対前年比 (R4.1/R3.1)	111%	162%	466%	117%	108%	198%	130%
------------------	------	------	------	------	------	------	------

※ 対象期間は、令和4年1月1日～1月31日（貸切バスの輸送人員のみ、同期間の実働率の対R1年比）。  
 ※ 減少率は、回答のあった事業者の輸送人員・運送収入を足し上げて比較した業界全体の値。Nは、回答のあった事業者数。  
 ※ 地域鉄道とは、新幹線、在来幹線、都市鉄道に該当する路線以外の鉄道路線のこと（JR九州、西日本鉄道等は含まれない）。

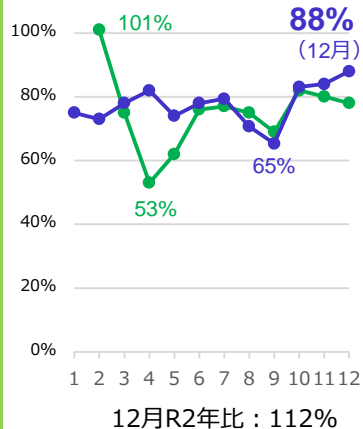
# 九州の公共交通事業者の状況(輸送人員)

## 輸送人員

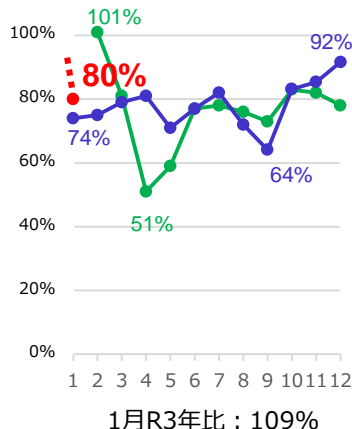
(R1年比)

緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

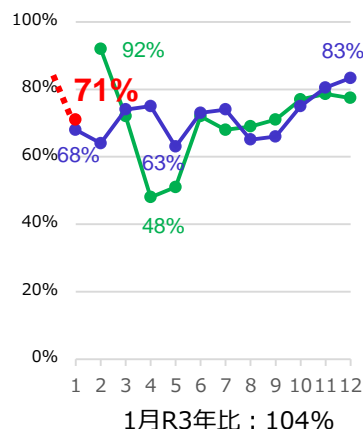
### JR九州



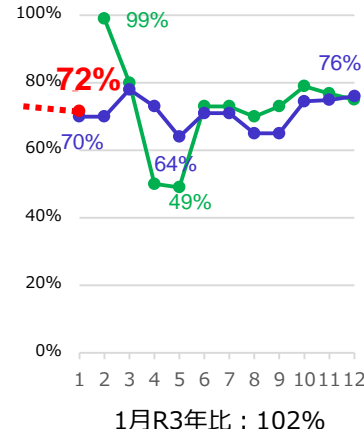
### 西日本鉄道



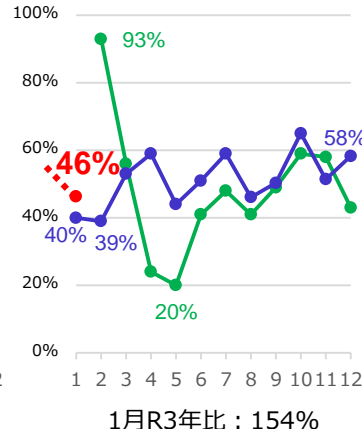
### 地域鉄道 (10社)



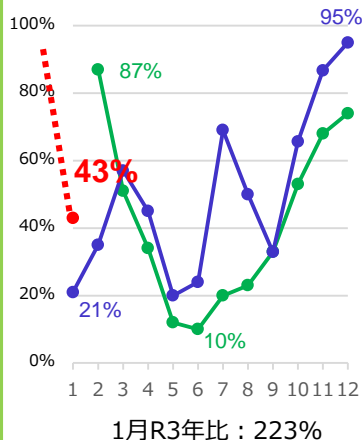
### 一般乗合バス (22社)



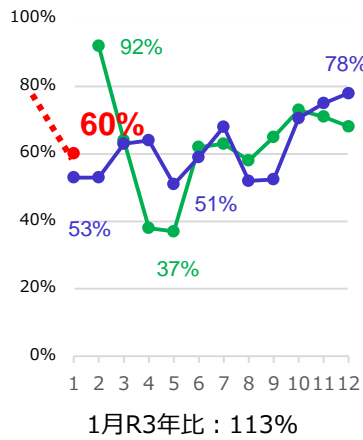
### 高速バス (12社)



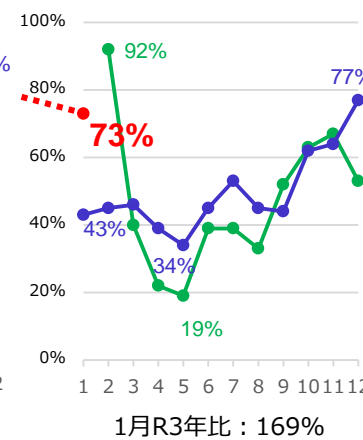
### 貸切バス (6社)



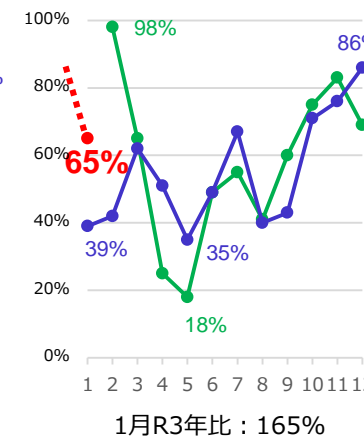
### タクシー (52社)



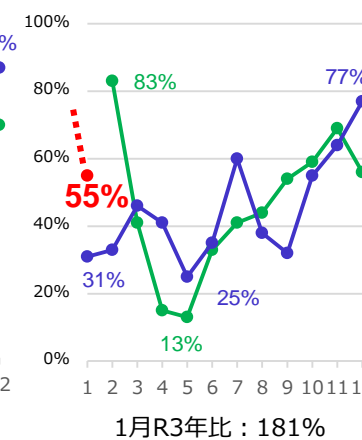
### 長距離フェリー (5社)



### 主要離島航路 (5社)



### 観光航路 (5社)



※ JR九州の輸送人員は、令和3年12月の値。その他は、令和4年1月の値。

※ 貸切バスのみ「実働率 = (延実働車両数) / (延実在車両数)」のR1年比。

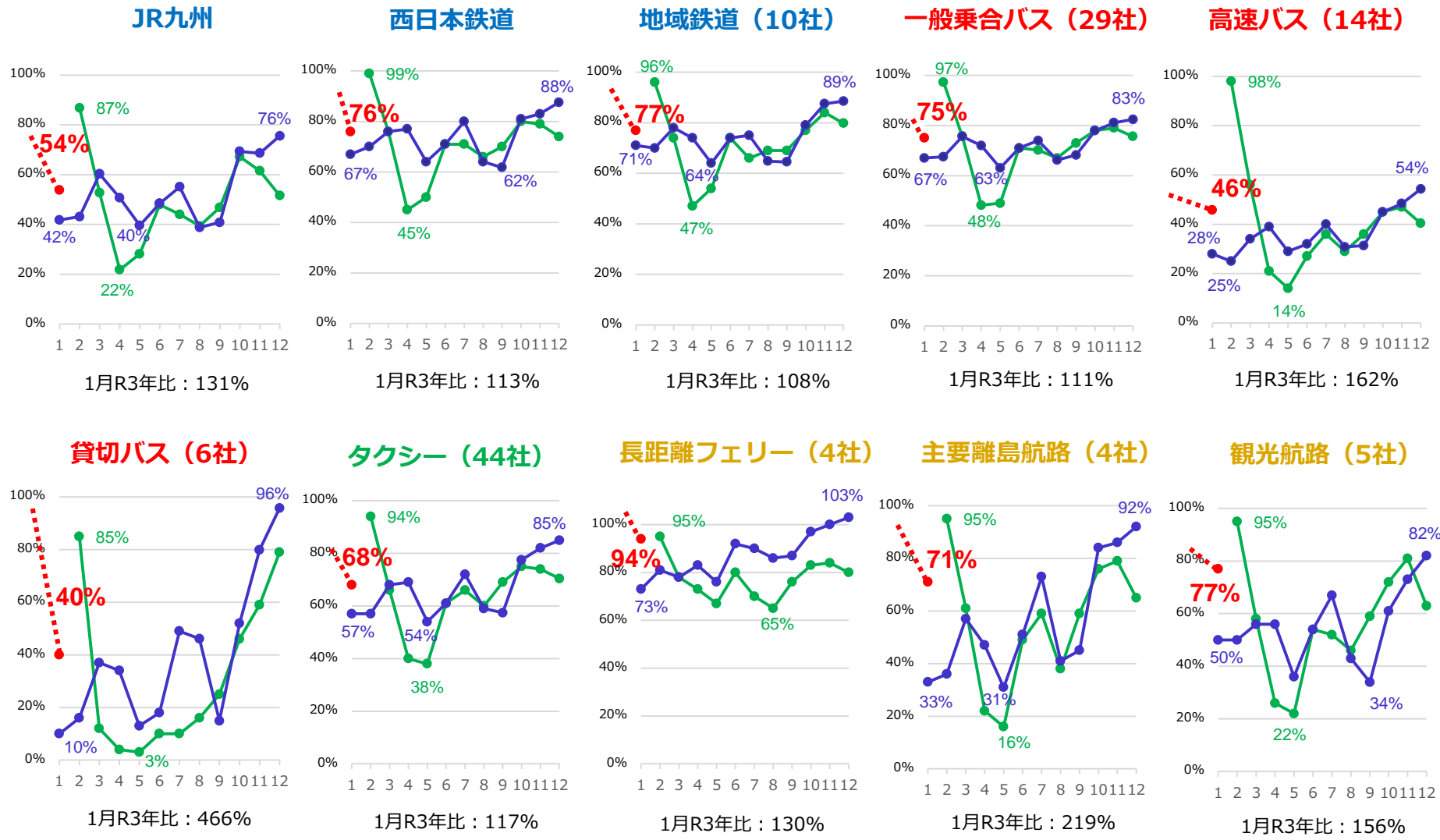
※ 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに(各月の記者会見時に公表したデータから)修正が生じている場合がある。

# 九州の公共交通事業者の状況(運送収入)

## 運送収入

(R1年比)

緑線 : R2/R1  
青線 : R3/R1  
赤線 : R4/R1



※ JR九州の運送収入の数値は、同社HP (<https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/finance/monthly/>) に掲載の運輸取扱収入の対前年比データを基に九州運輸局で算出。

※ 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに (各月の記者会見時に公表したデータから) 修正が生じている場合がある。

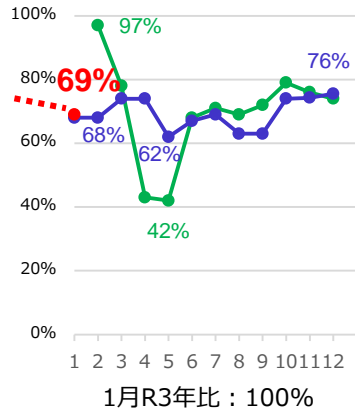
# 福岡県内の交通事業者の状況

## 輸送人員

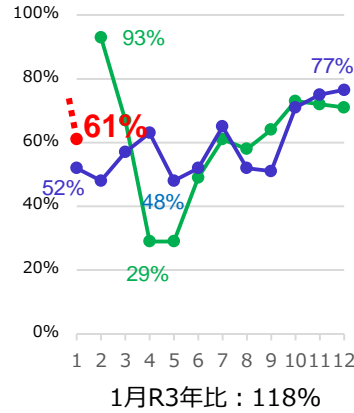
(R1年比)

緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

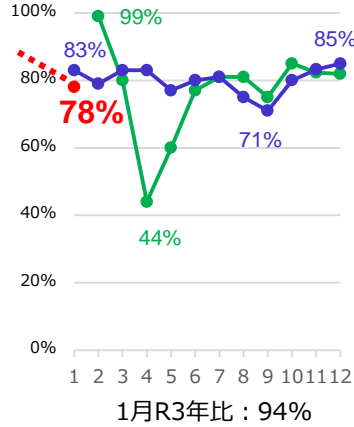
### 一般乗合バス (4社)



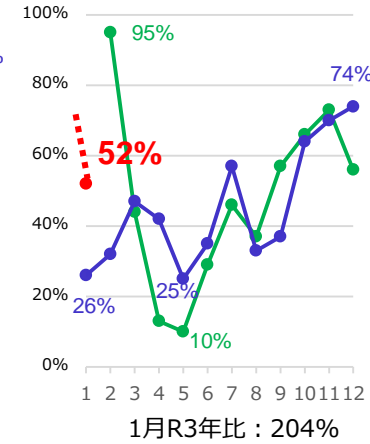
### タクシー (8社)



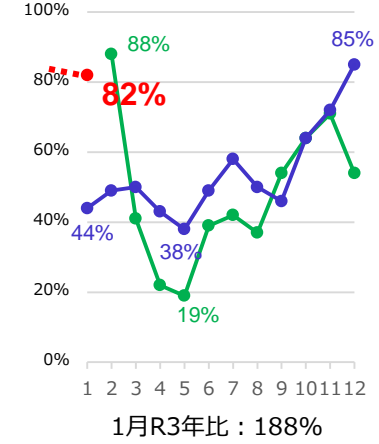
### 地域鉄道 (3社)



### 離島・観光航路 (2社)



### 長距離フェリー (3社)

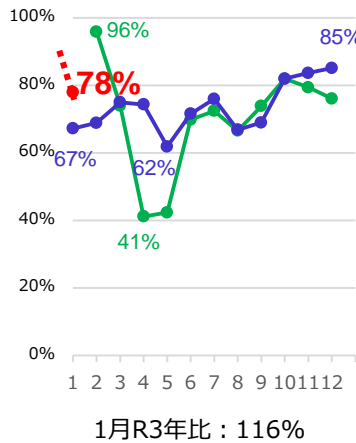


## 運送収入

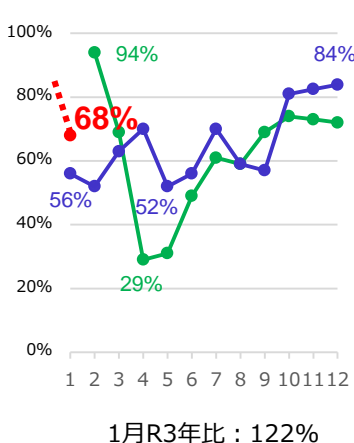
(R1年比)

緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

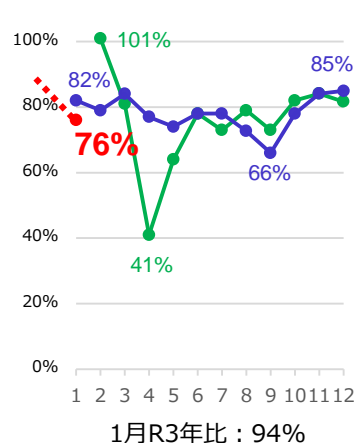
### 一般乗合バス (8社)



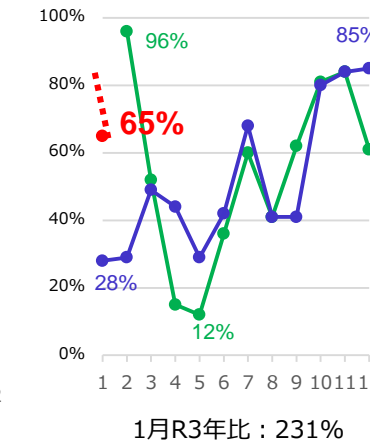
### タクシー (8社)



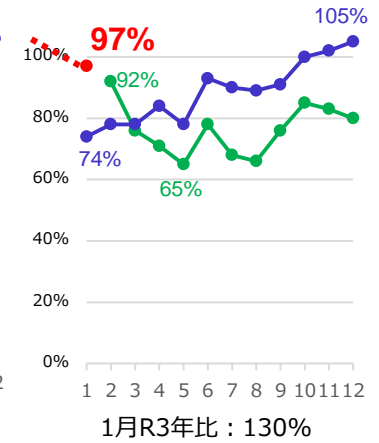
### 地域鉄道 (3社)



### 離島・観光航路 (2社)



### 長距離フェリー (3社)



※ 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（各月の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。

※ 同月R3年比は、サンプル数を合わせて算出している。

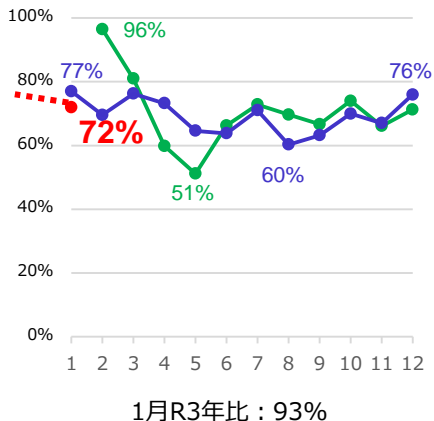
# 佐賀県内の交通事業者の状況

## 輸送人員

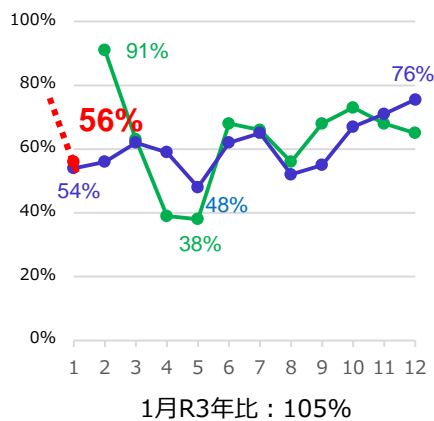
(R1年比)

緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

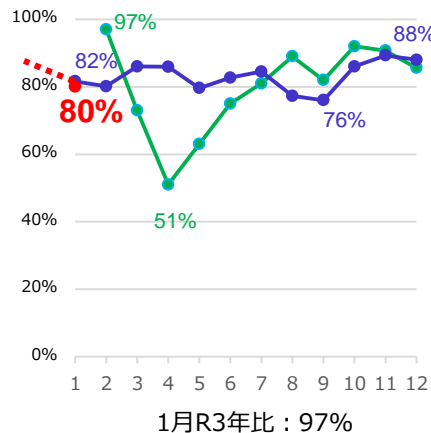
### 一般乗合バス（4社）



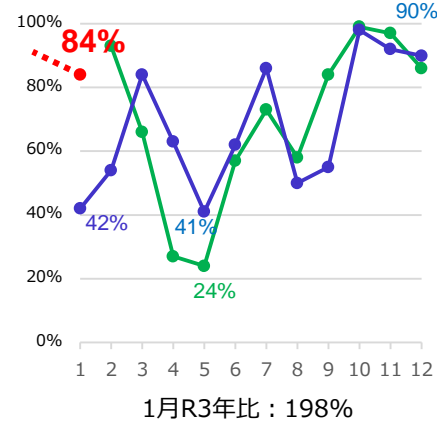
### タクシー（9社）



### 地域鉄道（1社）



### 離島・観光航路（1社）

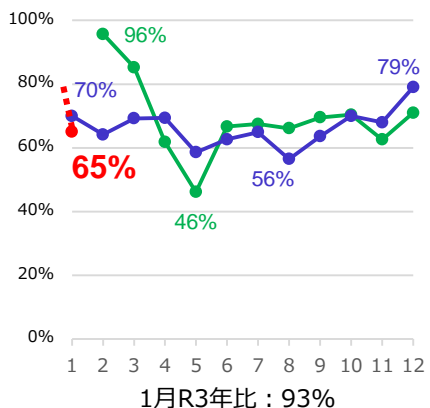


## 運送収入

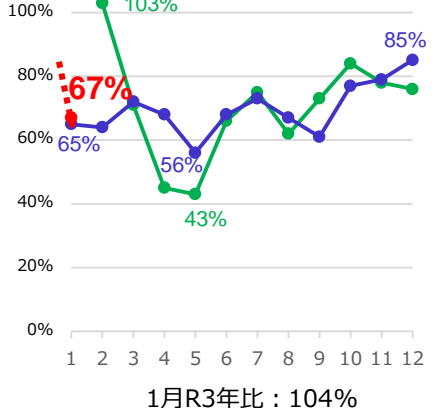
(R1年比)

緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

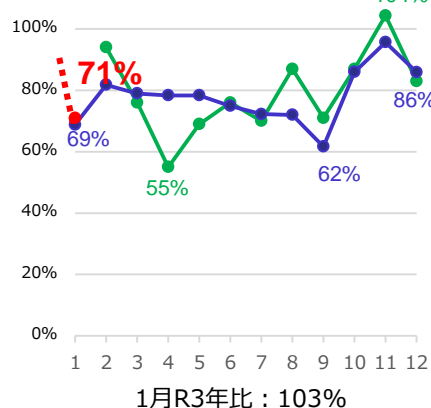
### 一般乗合バス（4社）



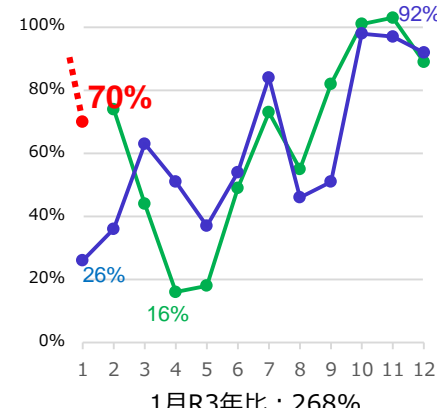
### タクシー（9社）



### 地域鉄道（1社）



### 離島・観光航路（1社）



※ 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（各月の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。

※ 同月R3年比は、サンプル数を合わせて算出している。

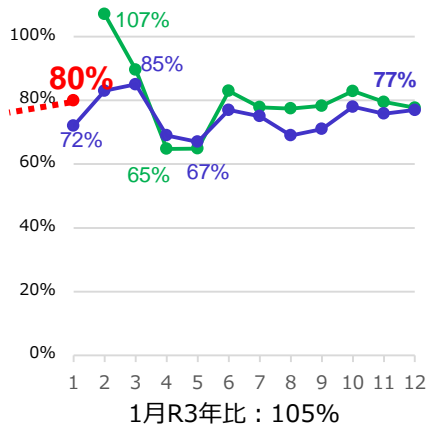
# 長崎県内の交通事業者の状況

## 輸送人員

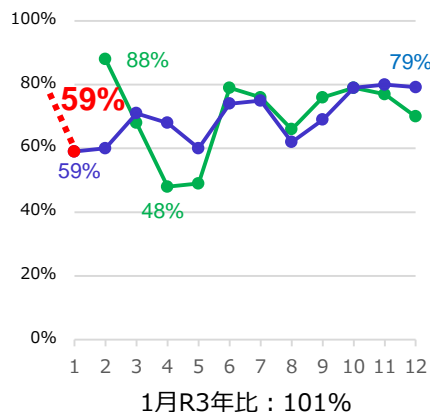
(R1年比)

緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

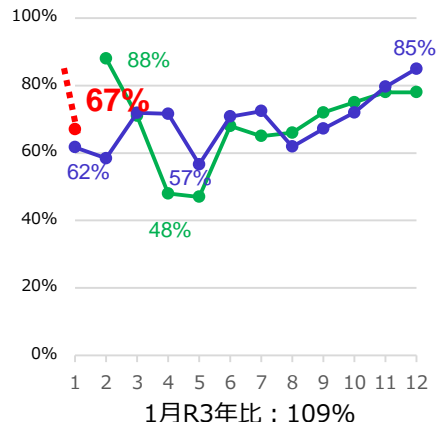
### 一般乗合バス（4社）



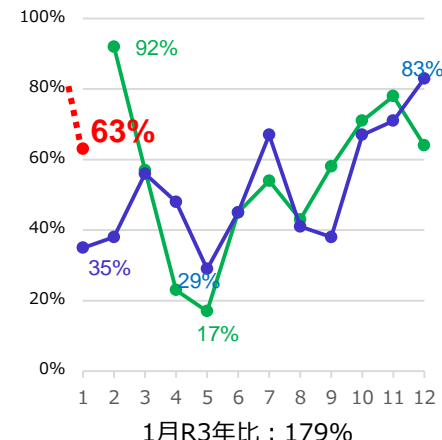
### タクシー（5社）



### 地域鉄道（3社）



### 離島・観光航路（6社）

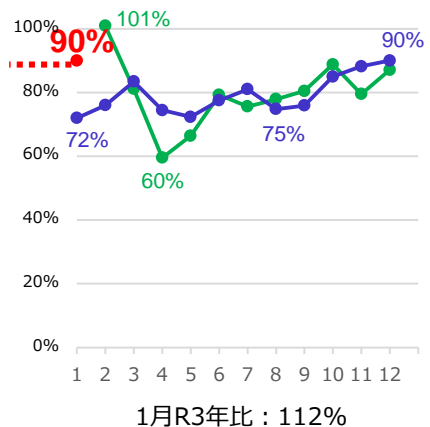


## 運送収入

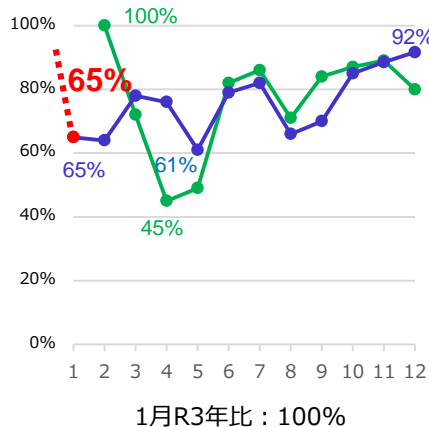
(R1年比)

緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

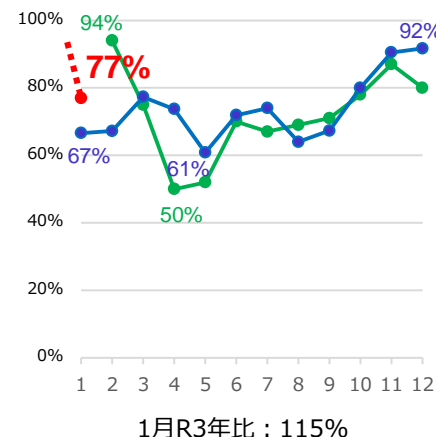
### 一般乗合バス（4社）



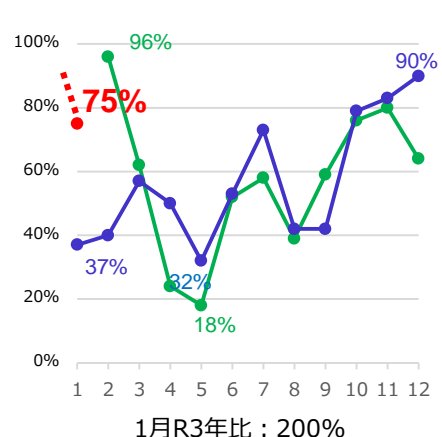
### タクシー（5社）



### 地域鉄道（3社）



### 離島・観光航路（6社）



※ 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（各月の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。

※ 同月R3年比は、サンプル数を合わせて算出している。



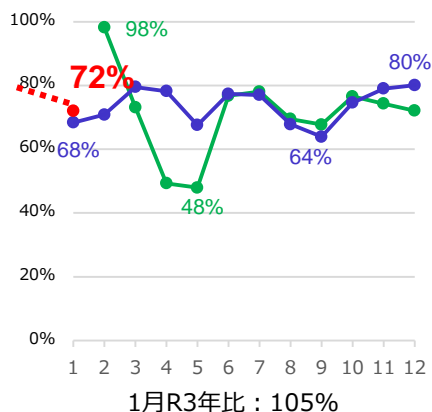
# 熊本県内の交通事業者の状況

## 輸送人員

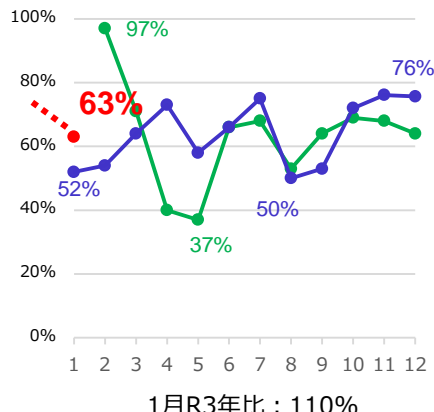
(R1年比)

緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

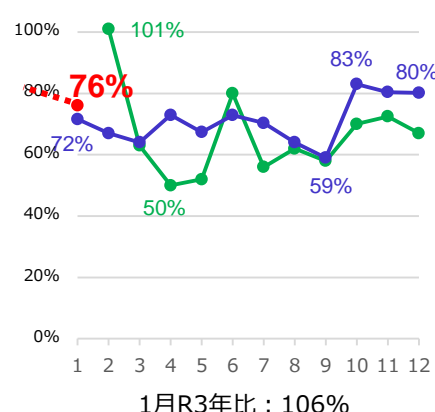
### 一般乗合バス（5社）



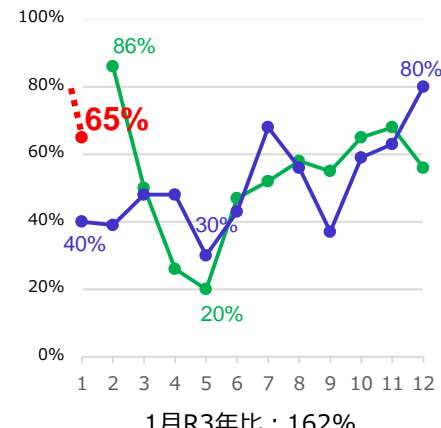
### タクシー（4社）



### 地域鉄道（4社）



### 離島・観光航路（3社）

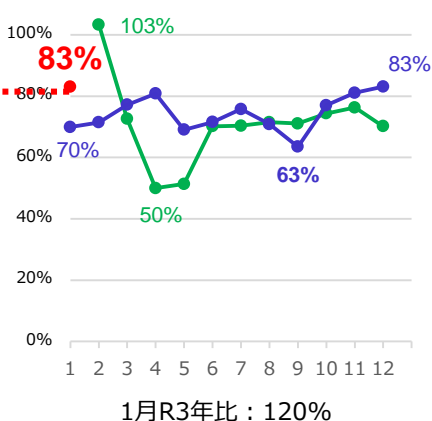


## 運送収入

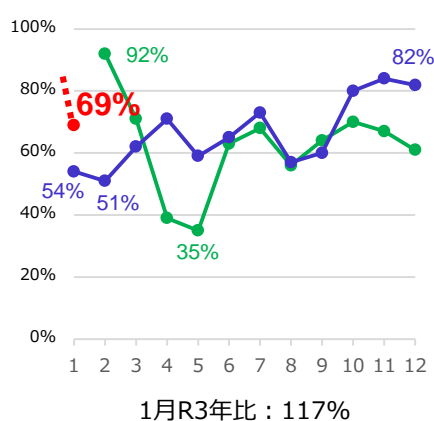
(R1年比)

緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

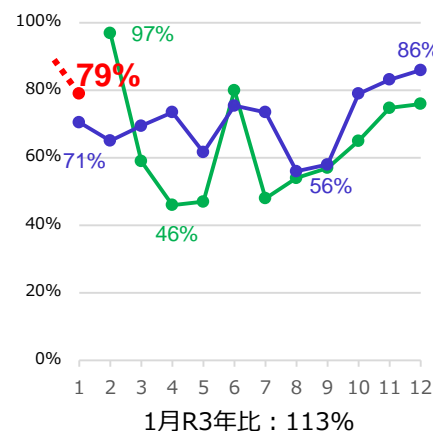
### 一般乗合バス（5社）



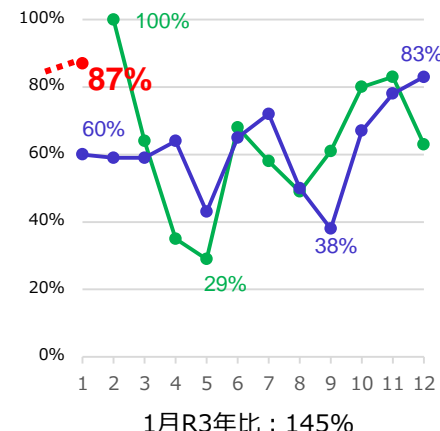
### タクシー（4社）



### 地域鉄道（4社）



### 離島・観光航路（3社）



※ 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（各月の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。

※ 同月R3年比は、サンプル数を合わせて算出している。



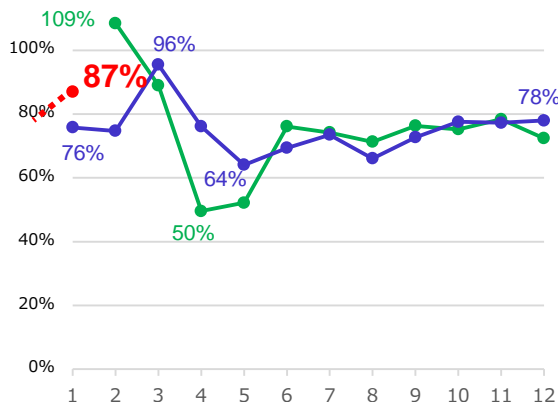
# 大分県内の交通事業者の状況

## 輸送人員

(R1年比)

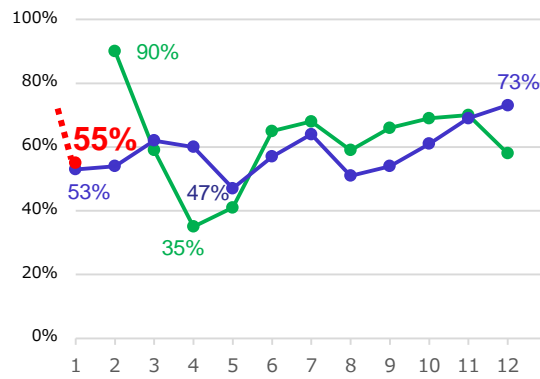
緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

### 一般乗合バス（2社）



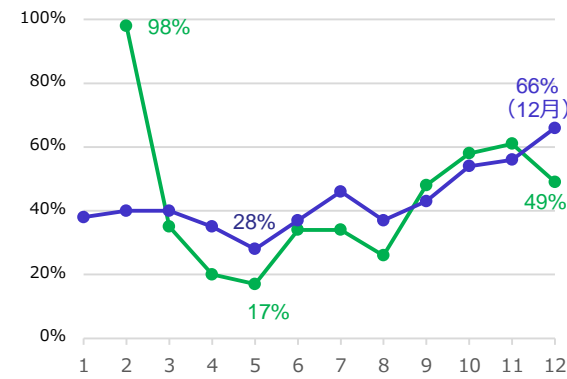
1月R3年比：115%

### タクシー（15社）



1月R3年比：103%

### 長距離フェリー（1社）



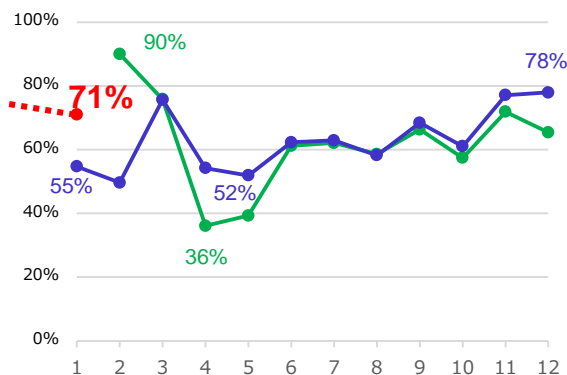
12月R2年比：134%

## 運送収入

(R1年比)

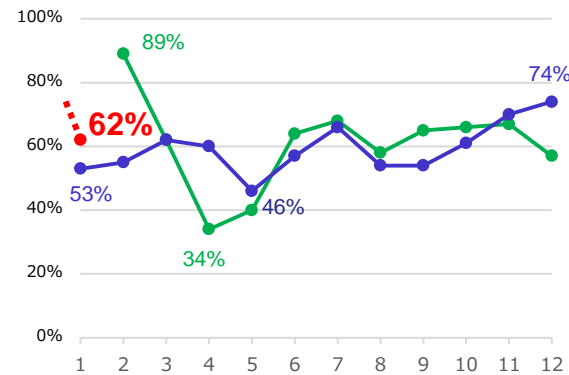
緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

### 一般乗合バス（4社）



1月R3年比：129%

### タクシー（7社）



1月R3年比：113%

※ 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（各月の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。  
 ※ 長距離フェリーのデータは「九州のうんゆ」からの引用。そのため、12月の実績が最新であり、また運送収入については「九州のうんゆ」で公開していないため、掲載していない。  
 ※ 同月R3年比は、サンプル数を合わせて算出している。

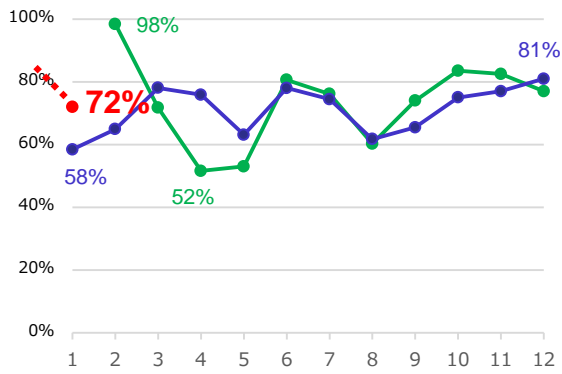
# 宮崎県内の交通事業者の状況

## 輸送人員

(R1年比)

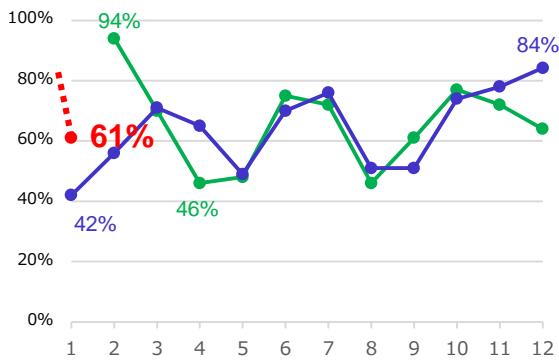
緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

### 一般乗合バス (1社)



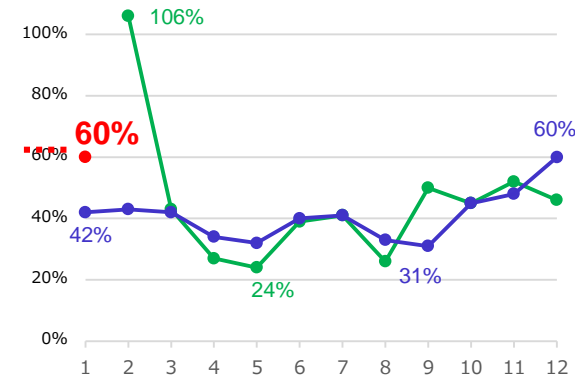
1月R3年比：123%

### タクシー (5社)



1月R3年比：146%

### 長距離フェリー (1社)



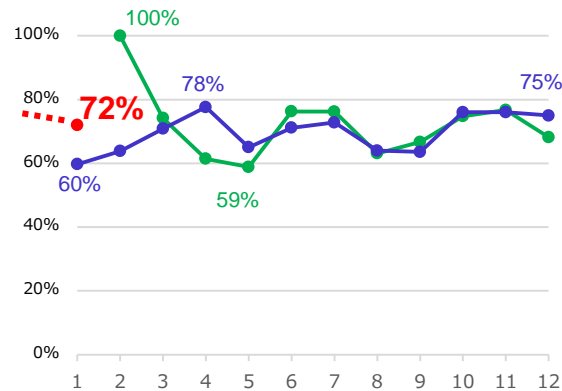
1月R3年比：144%

## 運送収入

(R1年比)

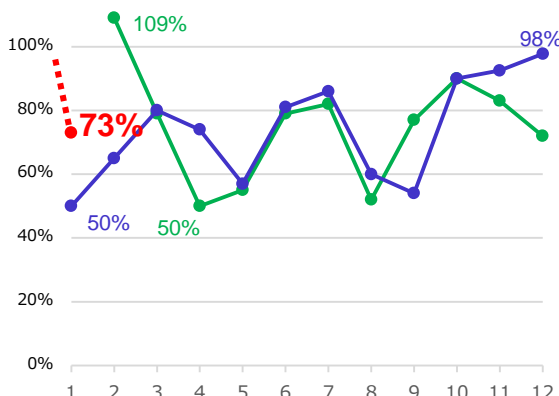
緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

### 一般乗合バス (1社)



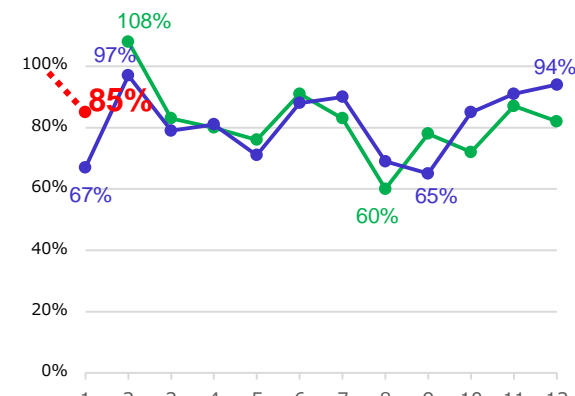
1月R3年比：121%

### タクシー (5社)



1月R3年比：147%

### 長距離フェリー (1社)



1月R3年比：127%

※ 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（各月の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。

※ 同月R3年比は、サンプル数を合わせて算出している。

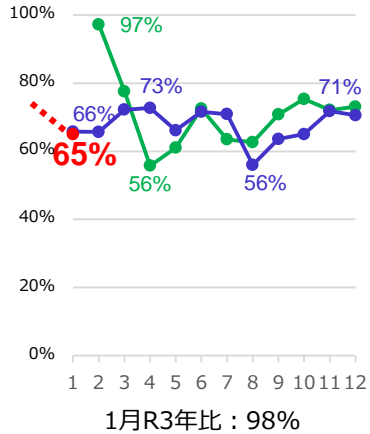
# 鹿児島県内の交通事業者の状況

## 輸送人員

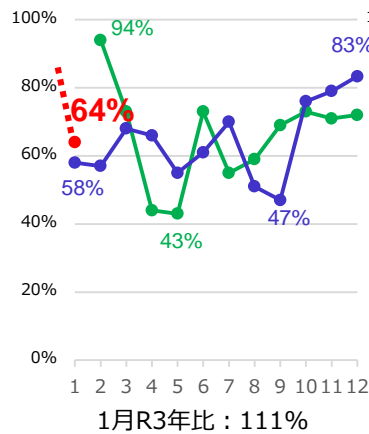
(R1年比)

緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

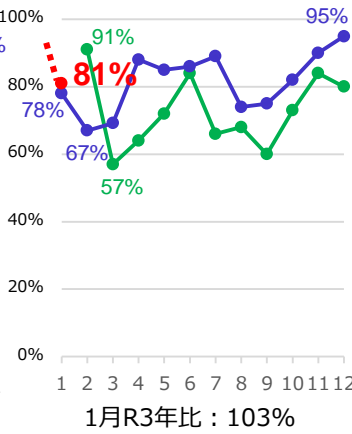
### 一般乗合バス (2社)



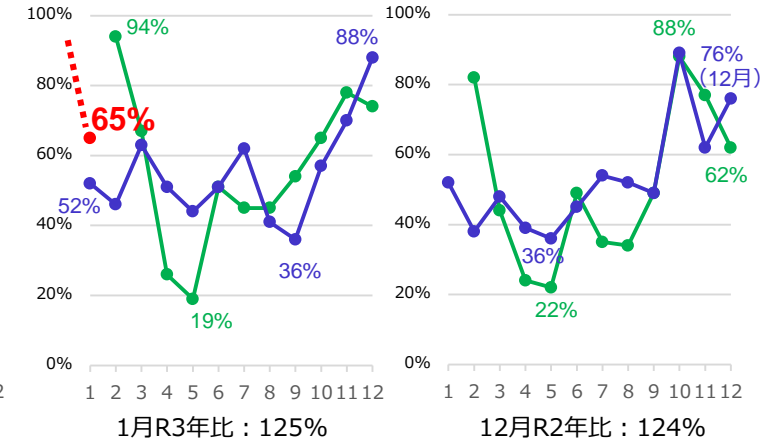
### タクシー (6社)



### 地域鉄道 (1社)



### 離島・観光航路 (2社) 長距離フェリー (1社)

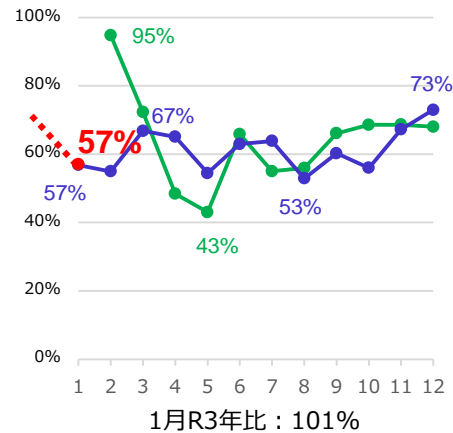


## 運送収入

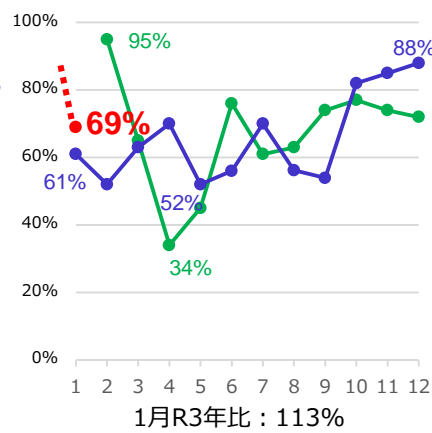
(R1年比)

緑線：R2/R1  
青線：R3/R1  
赤線：R4/R1

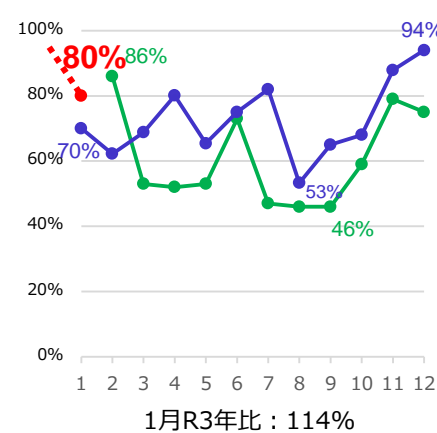
### 一般乗合バス (3社)



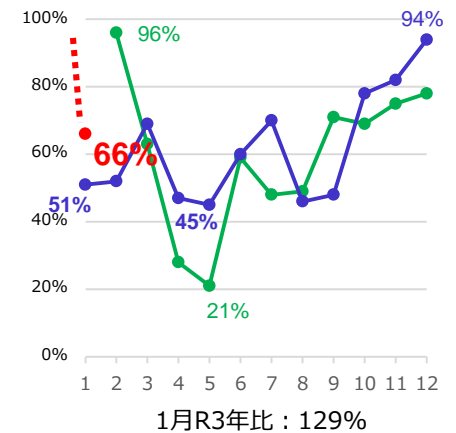
### タクシー (6社)



### 地域鉄道 (1社)



### 離島・観光航路 (2社)

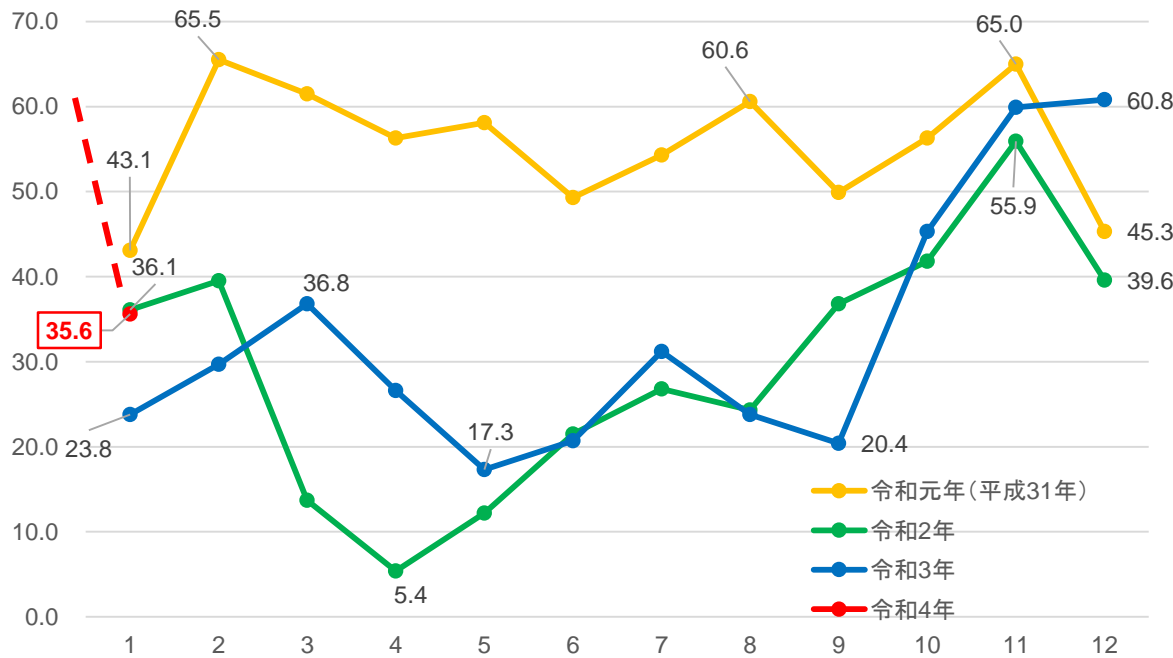


※ 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（各月の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。  
 ※ 長距離フェリーのデータは「九州のうんゆ」からの引用。そのため、12月の実績が最新であり、また運送収入については「九州のうんゆ」で公開していないため、掲載していない。  
 ※ 離島・観光航路の運送収入のデータは、R1年度比の数値の2社平均値で算出している。  
 ※ 同月R3年比は、サンプル数を合わせて算出している。

# 九州の宿泊事業の状況（稼働指数）

- 令和4年1月の九州の宿泊施設の稼働指数（稼働状況が良い場合は100に、悪い場合は0に近づく指標※公益財団法人九州経済調査協会調べ）は、35.6と4ヶ月ぶりに低下した。
- 月後半にはオミクロン株の感染拡大による九州全県でのまん延防止等重点措置の適用、観光需要喚起策（県民割・隣接県割）の停止等による影響を受けたが、1月は例年宿泊需要が低下する時期であり、コロナ禍前の令和2年1月（36.1）と同水準で、前年1月（23.8）との比較では+11.8ptの上昇となった。

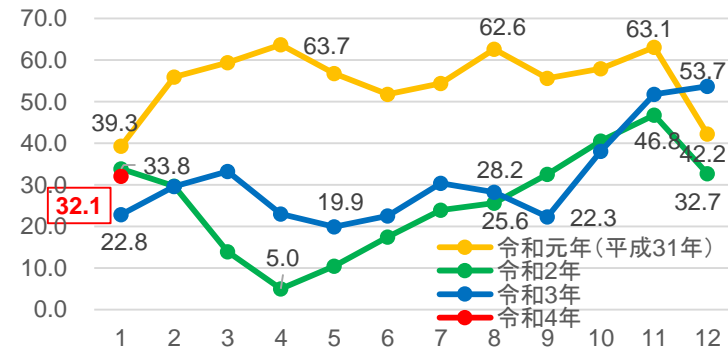
## 宿泊施設の稼働指数の推移【九州】



## 宿泊施設の稼働指数【九州各県】

県別	R1.1	R2.1	R3.1	R4.1
福岡	41.1	37.3	17.8	26.6
佐賀	45.0	47.3	45.5	57.6
長崎	46.7	48.4	33.5	45.2
熊本	43.9	39.3	26.9	32.3
大分	39.5	31.1	32.1	41.1
宮崎	44.9	45.6	22.2	48.6
鹿児島	47.2	48.6	23.0	41.2
九州	43.1	36.1	23.8	35.6

## 宿泊施設の稼働指数の推移【全国】



※ 稼働指数の数値は、公益財団法人九州経済調査協会「DATASALAD」（宿泊稼働指数、<https://datasalad.jp/report/news/2022-02-03-2/>）による。

なお、平成31年4月以降の算定式は、次のとおり。

$100 - \left( \frac{\text{当日の空室数} - \text{当日を含む過去730日の最小空室数}}{\text{当日を含む過去730日の最大空室数} - \text{当日を含む過去730日の最小空室数}} \right) \times 100$